

令和6年度習志野市立袖ヶ浦東小学校「学校評価(保護者)」	4	3	2	1
子供は家庭や地域でよくあいさつや返事をしている。	11.0%	72.0%	15.0%	2.0%
子供は学習の習慣が付き、基礎・基本が身についている。	15.0%	66.0%	18.0%	1.0%
子供は学校の決まりを守り、めあてを持って努力している。	20.0%	66.0%	12.0%	2.0%
子供は「はちなつぼ」(はんから・ちりがみ・名札・つめ・帽子)などの生活習慣に留意し、基本的な生活習慣を身につけている。	17.0%	59.0%	21.0%	3.0%
学校は「元気な子」(心身ともに成長する子)を育てようとしている。	28.0%	66.0%	5.0%	0.0%
学校は「思いやりのある子」(相手を尊重し協力できる子)を育てようとしている。	24.0%	67.0%	8.0%	0.0%
学校は「進んで学ぶ子」(基礎学力、思考力を基に自ら解決する子)を育てようとしている。	18.0%	69.0%	13.0%	0.0%
学校は子供たちが学習内容の理解を深められるように授業の仕方を工夫している。	22.0%	70.0%	8.0%	0.0%
学校は教育相談を通して子供たち同士の望ましい人間関係作りをしようとしている。	21.0%	66.0%	12.0%	1.0%
学校は学校行事を通して子供たちの成長を図っている。	40.0%	58.0%	1.0%	1.0%
学校は各たより・tetoru等で学校の様子や取り組みを発信している。	41.0%	56.0%	3.0%	0.0%
学校は保護者面談、教育相談などの機会を設定するなど、相談しやすい環境を整えている。	37.0%	60.0%	3.0%	0.0%
学校は授業をはじめとした教育活動をできるだけ保護者や地域に公開している。	27.0%	69.0%	3.0%	1.0%
学校は地震や火災、不審者による事件から子供を守るように取り組んでいる。	25.0%	66.0%	9.0%	0.0%
学校は健康に関する教育をすすめ、安全に配慮している。	27.0%	68.0%	4.0%	1.0%
学校は児童一人に一台のタブレットやICT機器を活用した授業を積極的に行っている。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
保護者は、授業参観や公開している学校行事等によく参加している。	26.0%	61.0%	13.0%	0.0%
保護者は、子供たちの健やかな成長と幸せのために、学校・地域社会と協力している。	16.0%	56.0%	27.0%	1.0%
4 とてもよくあてはまる 3 あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない				

【表の分析】 * 昨年度との比較から

- 「学校は情報を発信している」の項目でタイムリーな発信に高評価を維持しています。
- 「学校行事を通して子供たちの成長を図っている」と「保護者は、授業参観や公開している学校行事等によく参加している」では、「4」の高い実感をいただき、評価がさらに伸びました。
- 「保護者は、子供たちの健やかな成長のために、学校・地域社会と協力している」は「4」が6%上昇しました。ただし、「2」は横ばいの27%です。
- 学習の習慣化については、「2」が7%減少し改善傾向にあります。
 - ・「はちなつぼ」は、昨年も「2」が20%を超えていたため、毎朝の健康観察時に点検を始めましたが、習慣化できていない固定化した児童の改善が待たれます。
 - タブレット等の活用は、86%が肯定的ですが、「2」が新たに今年度5%増えてしまいました。
- 【自由記述】小規模校ならではの教職員と子どもたちの近い良好な関係性に感謝しているとのこと意見を多数頂戴しております。「タブレットを持ち帰らない日」や「授業参観の録画配信」の新提案をいただきました。敷地内の雑草については改善が必要と考えております。運動会のラジオ体操は、運動効果を考えた指導を求めるとのご意見を頂戴しました。

学校運営協議会・地域学校協働本部・地域の方からの評価

「袖東小 CS(コミュニティスクール)地域みんなハッピープロジェクト～小学生×保護者×地域で取り組むSDGs～」と題した授業+「1000カ所ミニ集会」より

「多様性や人権について、小学校の現状や学校側がどのように対応されているのか、市の取り組み等を新たに認識することができた」「人権という難しい問題にわかりやすい切り口で進めてよかった。子供たちが短い時間に即、反応していたと思う」「5年生を相手に、人権擁護委員がアニメを通じ、私自身が楽しく勉強させていただいた」「子供たちが素直に課題について受け止め考える姿を見ることができてよかった」「50代の次女が袖東小を卒業して以来の授業参観となった」

千葉県立習志野特別支援学校との芋ほりを通じた交流活動の視察(2年生)・外遊びの視察より

「日常の交流ができる環境下にある自然な姿が見られた」「他学年同士で遊ぶ様子に、改めて仲がよいと感じた。子供同士がお互いの顔を見知っている効果は今後大きだろう」「芋を掘るのに、土を触ることに全く抵抗感がなくてよい。都内では嫌がる子もいるようだ」「グラウンドの隅々まで子供がいて遊ぶ姿がよい」

その他

「次年度、朝顔栽培セットを学校配当予算で購入し教材費から削減し保護者負担を軽減するのはよい」「自身の町会には、3分の1が町会に所属していない現状や子供会の消失がある。情報の共有化がされなくてよいのかと考えてしまう。これからますます学校がコミュニティの拠点となる役割が大きくなるであろう。拠点づくりが重要だし、協力したい。」